

がんばる工織大生 | Active KIT students

# 科学・ものづくり教育 普及プロジェクト「ぽっけ」

子どもたちやその保護者を対象にした  
科学教室、工作教室、サイエンスショーを実施している  
科学・ものづくり教育普及プロジェクト「ぽっけ」。  
社会性を評価され学生表彰も受けているこの活動について  
代表の小島亮介さん（応用化学課程3回生）、  
主務の遠藤美由奈さん（デザイン・建築学課程2回生）  
にお話を伺いました。

Fig.1——遠藤さん（左）と小島さん（右）



Fig.2——イベントの様子

## ——「ぽっけ」の活動内容について教えてください。

**小島** 保育園や児童館、地域の広場で科学教室・工作教室を開いたり、小学校に行って出前授業を行ったりしています。工織大が理工系の大学なので、ここでの学びを社会に還元し、子どもたちの科学・ものづくりに対する興味を広げることを目的としています。科学・ものづくりが苦手な子どもももちろんいるので、そんな子たちもできる限り楽しませられるよう、教材を自作するなど工夫しながら活動しています。

**遠藤** 例えば7月に開催した工作教室では、織姫と彦星の七夕飾りを教材として用意しました。親子で参加するイベントだったので、協力して楽しみながら作れる教材を目指しました。

**小島** 科学教室でもさまざまな教材を自作しています。その一つが万華鏡です。鏡を使った通常の万華鏡とは違い、偏光板と呼ばれるものを使った偏光万華鏡で、光の不思議を体感できる仕組みになっています。

**遠藤** 今も次のイベントに向けて新たな教材を準備中です。空気について知ってもらえるように、子どもたちが自分で作れる小型の空気砲を開発しています。作りやすさや安全性に配慮しながら、試作を繰り返して改良を進めています。

**小島** ぽっけにはさまざまな課程の学生が所属していて人数も多いので、アイデアもたくさん出ます。そこからみんなで話し合っってアイデアを練り上げ、企画や教材を作っています。

## ——活動の中で印象に残っていることは何ですか？

**小島** 子どもたちはとても頭が柔らかく、自分にはない視点を与えてくれます。予想外の質問が来る時もあるって、子どもはすごいないつも感じています。あとはレポートしてイベントを依頼してくださる方や、何度も参加してくださる方も多く、それが印象に残っています。

**遠藤** 子どもたちに「楽しかった」「面白かった」と言ってもらえるのはもちろんうれしいですし、保護者の方からも「良い活動ですね」「これからも頑張ってください」と声を掛けてもらえて、とても励みになります。

**小島** 団体の代表を務めたことで、いろんな大人の方と話をする機会がありました。依頼者との打合せや交渉を通して、コミュニケーションのスキルがアップしたと感じます。イベントの企画や準備、当日の運営、フィードバック調査など、イベントを作り上げるノウハウも将来どこかで役立つかなと思っています。

**遠藤** 私もイベントの責任者を経験し、大人の方々とのやり取りの中で、メールの書き方やマナーを学びました。一つのプロジェクトを最初から最後まで担当して成功に導くような経験は、普段の学生生活ではなかなかありません。社会に出てからも役立つ貴重な経験ができていると思います。

## ——今後の意気込みを教えてください。

**小島** イベントのご依頼は年々増えており、2023年度は月に1回以上のペースで実施しています。今後も活動の場を増やし、もっと多くの子どもたちに科学やものづくりを広めていくことが私たちの目標です。そのためにも、新しいイベントの企画や教材開発をたゆまず続けていきます。

**遠藤** 私が特に頑張りたいのは、小学校への出前授業です。授業時間を割いていただき教育の現場で教える経験はとても新鮮で、私たちも大きな学びを得られます。そうした活動を増やしていくことが、ぽっけにもプラスになると考えています。

**小島** 活動を広げるために、新しい仲間も募集しています。子どもが好きな方や、教育に興味がある方、社会に出る前にいろんな経験を積みたくと考えている方にお勧めです。学年や課程の垣根もなくみんなで和気あいあいと活動しているので、きっと楽しめると思います。

科学・ものづくりの楽しさを

一人でも多くの子どもたちに伝えていきたい。